



公益財団法人 国際文化会館  
International House of Japan

日文研・アイハウス連携フォーラム

# 明治日本オリンピック事始め ～スポーツ文明論試論

講師：牛村 圭（日文研教授）

コメンテーター：三谷 博（東京大学名誉教授）

2019年 2/20（水） 6:30-8:00 pm（開場 6:00 pm）

会場：国際文化会館 講堂 用語：日本語（通訳なし） 参加費：無料（要予約）

幕末に欧米列強と不平等な条約を結んだ日本。その後、領事裁判権の撤廃、北清事変への列強との共同出兵、日英同盟の締結、対露戦の勝利、関税自主権の回復等により、建前上は「文明国＝一等国」となったものの、形式上の「対等」と実際の「対等」は別、というのが国際社会の厳しい現実でした。「新参者」日本が国際社会で対等を獲得できる場が存在したとすれば、それは同ルールが適用されるスポーツの場、その頂点に立つオリンピックという舞台でした。近代オリンピックへの参加こそ、世界の「文明国」の仲間入りを果たした証しと考えることができます。本講演では、日本の1912年ストックホルム大会参加への道程を文明の視点から考察します。



**牛村 圭（日文研教授）** 専攻は比較文化論、文明論。東京大学大学院（比較文学比較文化）、シカゴ大学大学院（歴史学）修了。東京大学にて博士号取得。アルバータ大学客員助教授（日本語日本文学）、明星大学青梅校助教授（外国語）等を経て、2005年より日文研。主著に『「文明の裁き」をこえて』（中公叢書、2001年）、『戦争責任論の真実』（PHP研究所、2006年）、編著に『文明と身体』（臨川書店、2018年）。第10回山本七平賞、第2回重光葵賞受賞。



**三谷 博（東京大学名誉教授）** 1950年広島県福山市生まれ。1972年東京大学大学院人文科学研究科に学んだ後、1978年東京大学文学部助手。1979年学習院女子短期大学専任講師、1988年東京大学教養学部助教授、1996年同大学院総合文化研究科教授。2015年より跡見学園女子大学教授。主著に『維新史再考』（NHK出版、2017年）、『愛国・革命・民主』（筑摩書房、2013年）、『明治維新とナショナリズム』（第19回サントリー学芸賞受賞、山川出版社、1997年）。

❖ 国際文化会館（アイハウス）と国際日本文化研究センター（日文研）は、多角的に現代日本の理解を深めるためのフォーラムを、シリーズで共催しています。

## お申し込み・お問い合わせ

国際文化会館 企画部（月-金 9am-5pm）

東京都港区六本木5-11-16 TEL:03-3470-3211

E-mail: [program@i-house.or.jp](mailto:program@i-house.or.jp) <https://www.i-house.or.jp>

